

令和 8 年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫	成果と課題（R 8 3 月に記入）
国語	◆文法知識を理解し活用する力（知・技 言語） ◆情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使う力（知・技 情報） ◆互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめる力（思・判・表 話す・聞く） ◆表現の効果を考えて描写する力（思・判・表 書く） ◆表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだす力（思・判・表 書く） ◆文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする力（思・判・表 読む）	・全国学力・学習状況調査では正答率が 71%と、東京都平均正答率 68%を上回っている。しかし、以下の問題は東京都平均を下回っている。 ◆「投げられる」を説明したものとして適切なものを選択する（-5.4%） ◆「ら抜き言葉」であるものを選択する（-3.9%） ◆話合いを受けて整理したタブレット端末の画面を説明したものとして適切なものを選択する（-2.6%） ◆話合いを受けてどのような意見を述べるか、自分の考えを書く（-8.6%） ◆気持ちがより伝わるように、表現を工夫して書く（-1.3%） ◆書いた文章について、交流を基にして、「この文章のよい点や改善点」と「今後随筆を書くときに生かしたいこと」を書く（-0.8%） ◆二つの例文を比べながら、擬態語「きっぱり」があらわしている具体的な様子と擬態語の効果を書く（-4.8%）	◆文法知識については小テストなどを実施し、繰り返し思い出す機会を設定する。 ◆情報と情報との関係の表し方の種類を全体指導したうえで、活動ごとに生徒が目的や意図に応じて自己選択できる機会を設定する。 ◆話し合いの学習活動のあとは、必ず自分の考えをまとめる活動を入れる。その際、自分の意見と他者の意見を結び付けて考えることを 3 年間通して育てていく。 ◆書く活動の際に、理由を明確にして表現を吟味する活動を設定する。 ◆書く活動の際に、交流を必ず入れてよい点や改善点を共有する活動を設定する。 ◆文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをもつ活動を増やす。その際、よかった文章を全体共有したり、エラーモデルについて全体で考える時間を設定する。	

令和 8 年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫	成果と課題（R 8 3 月に記入）
社会	◆社会的事象に関する知識と理解を深め、技能の習得を図ろうとする力 ◆複数の資料を基にして多面的・多角的に考察・判断・表現する力 ◆よりよい社会の実現を視野に、諸課題を主体的に追究、解決しようとする態度	◆定期考査では、全学年知識・技能の達成率よりも思考・判断・表現の達成率が低い。特に 7 年生では知識・技能が 54.7% に対して、思考・判断・表現が 43.1% と低かった。 ◆学力テストでは、歴史分野の年代の並べ替え問題の正答率が 4% と著しく低い。社会的事象の断片を知識として習得できているが、その知識を深く理解し関連付けて学習できていない。知識の連続性や相互関係について意識できていない。 ◆思考・判断・表現では、身に着けた知識を活用しながら自分の考えを表現・記述する経験が不足していることが課題である。	◆知識の定着を図るために授業内で小テストや定着度テストを活用する。 ◆単元を見通した学習を行い、授業で学習したことを自分の言葉でまとめる活動を行い、思考・判断・表現を身に着けさせる。既習知識や日常生活での気づきを学習と関連付けて学習することで知識の連続性や相互関係について気付かせる。 ◆資料の読み取りや複数資料の比較活動を取り入れ、自分の考えを表現・記述する力を育む授業を実施する。	

令和 8 年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫	成果と課題（R 8 3 月に記入）
数学	◆数量や図形の基礎的な概念や原理を理解したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に着けようとする力 ◆数学を活用して事象を論理的に考察し、明確、的確に表現する力 ◆数学的活動の楽しさやよさを実感して考え、生活や学習に生かそうとする態度	◆本校における全国学力・学習状況調査の平均正答率は 71%であった。「数と式」の分野では、東京都の平均正答率を 5.8%上回るにとどまり、他の分野と比較して最も差が小さかった。 ◆文章題を式に表して解決する力や、証明を書く力を身に着け、それらを適切に活用できるようにすることが課題である。また、基本的な計算技能の定着に向けた練習も継続して行う必要がある。	◆証明問題に対する苦手意識の軽減を図る。そのため、穴埋め形式や語群から選択する形式など、段階的に取り組める問題を取り入れ、証明問題に慣れる機会を設ける。 ◆図形分野では一つ一つの知識を確実に身に付けられるよう、図形の定義・定理を関連付けて整理する。また、習得した知識を活用して正しく説明が書けるように授業を行う。	

令和 8 年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫	成果と課題（R 8 3月に記入）
理科	◆主体的に自然事象と関わり、それらを科学的に探究しようとする態度 ◆観察・実験の結果分析・解釈し、そこから関係性（共通点や相違点など）や傾向を見出す力 ◆学習した内容をもとに、新たな知識を再構築、獲得する力	期末考査では全学年において、「知識・技能」の平均点は、「思考・判断・表現」と比べて 7 年生で 6 点、8 年生で 8 点、9 年生で 9 点と、学年が上がるにつれて高くなる傾向が見られた。このことから、基礎的・基本的な知識の定着はおおむね図られているものの、習得した知識や技能を活用して考察したり、自分の考えを表現したりする力に課題があると考えられる。	授業において、既習事項を活用して考える場面や、自分の考えを説明・発表する活動を計画的に取り入れる。また、単元のまとめや振り返りの場面で、理由や根拠を明確にしながら記述する活動を充実させる。さらに、定着度テストや期末考、日常の課題においても、思考・判断・表現を問う問題を継続的に扱い、生徒が知識を活用して課題解決に取り組む機会を増やすことで、思考力・判断力・表現力の向上を図る。	
音楽	◆表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる力	◆定期考査の結果から、基本的な知識についてはおおむね定着していると思われる。知識は身に付いているものの、記述式の解答方法が分からず、得点に結びつかない生徒が多いので、記述の訓練をする必要がある。	◆表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる力を育む。 ◆人前での演奏の機会を増やす。	

令和 8 年度 授業改善推進プラン

美術	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫	成果と課題（R 8 3 月に記入）
	◆表現方法を創意工夫し、創造的に表す力 ◆造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練る力	◆定期考査の結果から、基本的な知識についてはおおむね定着していると思われるが、発想を問う問題については、苦手意識を持っている生徒も多く課題がある。 ◆計画的に作業（制作）を進めることができない生徒が多い。	◆作品制作や鑑賞の学習を通して、表現と鑑賞の繋がりを意識できるように丁寧に説明していくことで、美術に対する興味をさらに広げる。 ◆作品制作では、導入段階で発想を広げる活動を多く取り入れ、見通しをもって制作できるように課題のある生徒には適宜個別指導を実施する。表現技能については、繰り返し指導を行い、基本を定着させる。	

令和 8 年度 授業改善推進プラン

保健体育	育成を目指す資質・能力	新体力テスト、学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫	成果と課題（R 8 3 月に記入）
	◆生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度	◆新体力テストでは、投力、握力の向上が課題である。 ◆学習評価の観点では、思考・判断をして動作（実技）に結び付ける創意工夫に課題がある。 ◆全体的に球技の能力に課題がある。	◆始業時に、ランニング、ラジオ体操、補強運動を継続的に行い、バランスのとれた体力かつ、新体力テストの課題である能力の向上を図る。 ◆男女共習、チームティーチングにより、個に応じた指導を行う。 ◆補強運動を中心に、普段使わない筋肉や体の動かし方を取り入れ、体の使い方を習得させる。	

技術・家庭	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫	成果と課題（R 8 3 月に記入）
	◆生活を創造し、支える力を育成する。 ◆知識、技能を深め、一人ひとりが生活課題を解決する力を育成する。 ◆よりよい生活と持続可能な社会を創る力を育成する。	◆課題がある生徒を中心に実技作業が遅れる傾向がある。 ◆定期考査については、基礎的な知識を問う問題はできるようになっているが、記述式の問題について課題がある。	◆実践的・体験的な学習と生活課題の解決を通して協同的に学ばせ、振り返りを重視した指導を行う。 ◆知識、技能を深める課題設定と、主体的な学習ができるような環境の整備、提示する資料の工夫を行う。	

令和 8 年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫	成果と課題（R 8 3月に記入）
	◆コミュニケーションを行う目的や 場面、状況などに応じて、日常的な 話題や社会的な話題について、外国 語で簡単な情報や考えなどを理解し たり、これらを活用して表現したり 伝え合ったりすることができる力	◆全国学力・学習状況調査では平均 正答数が7点満点中5点となり、全 国平均(3.7点)を上回り、聞くこ と・読むこと・書くことのすべての 領域で全国の公立校および東京都の 公立校の平均点を上回った。 ◆全国学力・学習状況調査の結果か ら、リーディングで文章中の状況や 言動から心情を推測する力、また与 えられたテーマに対し短時間で内容 を構成し文章にする力に課題があ る。	◆心情を推測する際に、本文中の語 句・行動・場面を根拠として示す練 習を継続する。ペアで理由を説明し あう活動を取り入れ、判断の妥当性 を高める。 ◆5分程度の短いライティング課題 を授業内で継続的に実施し、即興で 構成する力を育成する。	

外国語（英語・国際）

令和 8 年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫	成果と課題（R 8 3 月に記入）
道徳	◆善悪を判断し、自ら節度ある行動を選び、自由を正しく行使し責任を果たす力 ◆公正・公平に判断し、他者の権利を尊重し、社会の正義を守る行動を選ぶ力 ◆相手を尊重し、場に応じた言動を選び、思いやりをもって礼儀正しく振る舞う力	◆状況を踏まえて善悪を判断し、自由と責任を自覚して行動する力が十分になく、主体的により良い集団づくりへ関わろうとする姿勢が課題である。 ◆自分本位な言動が目立ち、相手への配慮や場に応じた適切な言動の選択が課題である。	◆生徒に身近な具体的場面を取り扱い、判断理由を言語化する授業を行い、自己決定と責任について考える指導を行う。 ◆話し合い活動を充実させ、他者の立場を理解し、公正な判断を促す学習場面を作る。 ◆相手を尊重し、場に応じた態度を育てるため、授業だけでなく日常生活も結び付け学校全体で統一された継続的な指導を行う。	

令和 8 年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫	成果と課題（R 8 3 月に記入）
	◆多様な他者と協働する集団活動の意義や必要性を理解し、行動する力 ◆集団や自己、人間関係の課題を見出し、その解決に向けて話し合いや合意形成、意思決定ができる力 ◆人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度	◆様々な変化に積極的に向き合い他者と協働して課題を解決していくことが課題である。 ◆自己の在り方や生き方を考え設計する力に課題がある。	◆多様な集団への所属感や連帯感を高めるために、生徒の積極的な参加による体験的活動や地域等学校外の活動を活性化する。 ◆学級活動、学年・学校行事、生徒会活動を計画的に行い、特に話し合い活動の充実を図る。 ◆自己理解を深めるため、定期的な学校生活の振り返りと体系的なキャリア教育を実践する。その際、生徒の活動を記録し蓄積する。	

令和 8 年度 授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	学習評価及び 定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・ 指導体制の工夫	成果と課題（R 8 3 月に記入）
	◆問題の解決や探求活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度 ◆自己の生き方を考え、社会に積極的に関わるができる力	◆身近な人々や社会、自然に興味・関心はもてるが、正確な知識の上に社会をとらえ、自ら考え、社会に主体的・協働的に関わろうとする姿勢の育成に関して課題がある。	◆地域の特性を生かし、環境学習について、学年の発達段階に応じた取り組みを実施する。 ◆キャリア教育に関しては出前授業、職場体験を地域人材や専門家、地域の事業所等の協力を得て行とともに、自ら進路を考えていけるような機会を設定する。 ◆国際理解教育を7年次より計画的に実施し、海外修学旅行を充実したものとできるようにし、世界で活躍できる人を目指せるよう支援する。	

総合的な学習の時間